

よいや～の風にのって



——令和7年4月17日(木)No.3——校長 東原 宏章——

「1週間が過ぎて」

右上の画像は、4月15日の昼休みの運動場を校舎3階から撮影したものです。上から2番目の画像は、同じ時間帯に体育館を撮影したものです。多くの児童が級友や担任と一緒に駆けまわったり、ボールを投げ合ったりして楽しんでいました。

ある子は、教室で本を読んでいた。題名は「命のものさし」(今西 乃子著 合同出版)。殺処分されるペットの話が載っているのだと話してくれました。

1番下の画像は、委員会の仕事を頑張っている二人のうしろ姿です。各トイレを回って、トイレトーパーを補充してくれていたようです。

外で元気に遊ぶ子、教室で静かに過ごす子。係の仕事を全うする子。高城台小の日常から昼休みの様子を切り取ってみました。

話は変わりますが、始業式、入学式が終わって1週間が経ちました。登校の様子を見ていると、全体的な傾向として、登校時間が日に日に早まってきていることに気がつきました。あいさつをする声も大きくなってきています。生活のリズムが整ってきているのかなと嬉しく思っています。

一方で、笑顔で登校していたはずの子が、一昨日、昨日と足取り重く坂道を登ってきました。学校で嫌なことがあったのではないかと声をかけたところ、少々腰を痛めているのだと話してくれました。

この子に限らず、登校中の気になる児童については、担任と情報共有をしています。

さあ、明日は遠足。おやつの準備はできているのかな。

